



国立病院機構(NHO)宇都宮病院広報誌



WAKA-AYU



基本理念

私たちは、地域から強く信頼される病院を目指します
そのために、誠実で前向きで勤勉であるよう努めます

目次

20 **春** 18
第47号
広報誌／年4回発行
発行：国立病院機構 宇都宮病院
発行日：平成 30年4月1日
発行責任者：沼 尾 利 郎

- | | |
|--------------------------------------|--|
| ■ 胃癌治療ガイドライン改訂 …………… 1 | ■ 出前講座「口腔ケアで寿命がのび〜る!？」 …… 4 |
| ■ 呼吸器内科紹介 …………… 2 | ■ 医療連携結核研修会 …………… 5 |
| ■ お薬の飲み忘れを防ぐために …………… 3 | ■ 宇都宮市地域包括支援センター
北部・東部ブロック連携会議報告 …… 5 |
| ■ 重症心身病棟における
リハビリテーション科の取り組み …… 3 | ■ 成人を祝う会 …………… 6 |
| ■ 市民公開フォーラムを開催しました …… 4 | ■ ボランティア感謝の集いを開催して …… 6 |

胃癌治療ガイドライン改訂

臨床研究部長・がん診療部長 芳賀 紀裕

現在、診療には多くのガイドラインがありますが、「胃癌治療ガイドライン」は2001年にがんの治療ガイドラインとしては日本で初めて作成されました。その後、時代とともに新たな治療法の有用性や安全性が証明されるなどに従い、改訂が加えられ、2018年1月には第5版が完成し刊行されました。今まで胃癌治療ガイドラインは系統的に治療法を示す教科書形式でありましたが、議論がある治療について、クリニカル・クエスション（CQ）とそれに対する回答をエビデンスにもとづき示すという形も取り入れています。特に抗がん剤や分子標的薬を用いた化学療法は急速に進歩し始めており、新しい治療法も多く取り入れられ治療の選択肢が増えております。高額な薬として話題となったニボルマブ（製品名：オプジーボ®）も1つ目、2つ目の化学療法の効果がなくなった患者さんへの3次治療として推奨されています。外科分野でのトピックスとしては、がんが手術で治すことの切り切ることのできない根治切除不能進行胃がんに対する治療法です。根治切除不能胃がんの標準療法は化学療法となりますが、外科医の間では胃の切除手術を行ってがんの量を減らしてから（減量手術）、化学療法を行ったほうが良いのではないかという意見が根強くありました。しかし、大規模な前向き臨床試験の結果、減量手術の有用性は否定され新ガイドラインでは「減量手術を行わないことを推奨する」と示されています。

また、ガイドラインでは、臨床試験の結果に基づいて有用性と安全性が認められた治療法を標準療法として推奨されております。臨床試験の対象となるのは、年齢（多くの臨床試験が75歳未満）や全身状態、肝臓や腎臓の機能が一定の条件を満たした患者さんです。そのため、ガイドラインで示された治療法がすべての患者さんに当てはまるわけではありません。以前私が勤務していた群馬県立がんセンターや大学病院で治療に当たってきた胃がん患者さんの平均値は60歳台でしたが、当院では時代が異なるものの、70歳を超えております。すなわち半数近くの方がガイドラインによる治療法の当てはまらない方であり、今後も増加すると思われます。高齢者に対する化学療法についてはクリニカルクエスション22で触れられておりますが「高齢の切除不能進行・再発胃がん症例では、患者の状態を慎重に評価し、化学療法を行うことを条件付きで推奨する」となっており、最終的には主治医の判断、患者さんの状態、意志、他の医療職の意見など総合的に判断し治療法を考えていくことになります。

胃癌治療ガイドラインの改訂に当たっては、日本胃癌学会が中心となり胃がん治療に当たる多くの医師たちのアンケートを集計し、さらに分野別の専門家が集まり議論を重ねました。今年3月に横浜で開催された第90回日本胃癌学会総会でも第5版に対する多くの意見が出されており、今後も細かな修正はあるかもしれませんが、科学的根拠に基づいた観点で現在利用できる最良の治療が示されていると思います。



〈参考文献〉胃癌治療ガイドライン 第5版 金原出版

呼吸器内科紹介

呼吸器内科医長 黒崎 史朗

1. 呼吸器内科スタッフ

当院の呼吸器内科は平成29年4月にスタッフの大幅な変更がありました。現在は沼尾院長をはじめ、獨協医科大学、自治医科大学、国立病院機構東京病院からの出向の計5人です。当科については、色々な出身医局から構成されたのは、おそらく初めてですが、良い意味でお互い刺激になっています。

2. 診療内容

当院は栃木県内で最大の結核病床をもつ病院であり、抗酸菌感染症の患者さんは多いです。次いで、肺炎、COPDが多く、間質性肺炎や肺癌の患者さんも診療しております。まだ当院で診療している肺癌患者さんの数は多くはないですが、今後は化学療法(抗がん剤治療)を中心に沢山診療していきたいと思っております。

3. 検査の進歩

呼吸器内科の検査というと、一般的にはX線やCT、スパイロといった検査を思い浮かべることが多いと思います。最近では、気管支鏡、胸腔鏡に力を入れており、気管支鏡については月10回行う月もあります。胸腔鏡は、局所麻酔下で行う検査を平成30年1月より導入し(3月初旬の時点で既に5件行っています)、内視鏡センター、手術室とも連携を取って安全に行っております。特に、局所麻酔下で行う胸腔鏡は全身麻酔を行えない患者さんや治療目的にも行うことができるという利点があります。適応については、片側の滲出性胸水、膿胸などがあります。最近では、悪性胸膜中皮腫を胸腔鏡で診断しております。

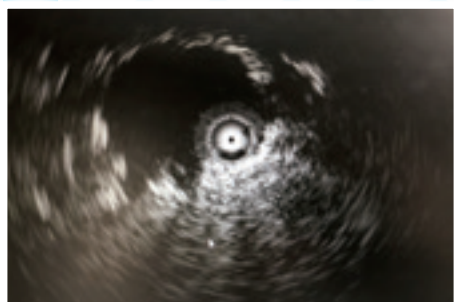
4. 研究活動

今後ますます力を入れていくつもりです。現在、他施設主導の臨床研究に多数参加しております。そして、研究会や地方会での発表、総会での発表を積極的に行い、論文投稿も年1編以上は行いたいと思っております。それにはまず、診断、治療を当院で完遂させること、他科の先生とも連携をして診療をすることが重要だと思っております。

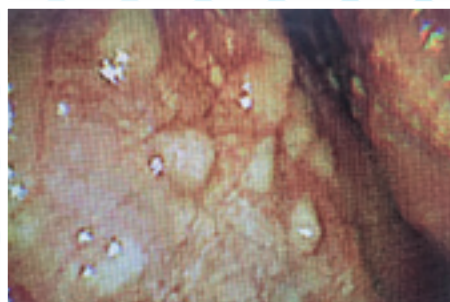
- i) 野村由至他. 痙攣した経過のある肺M.abscessus症の1例. 第20回栃木RTIフォーラム
- ii) 梅津貴史他. 当院における外国出生結核患者の特徴. 第57回栃木県総合医学会
- iii) Kurosaki F, et al. Pulmonary Mycobacterium heckeshornense infection in a healthy woman. J Infect Chemother 2018 (Epub ahead of print).

5. 最後に

自分の働く環境は良いものにしたいと誰もが思っているはずですが。上記に掲げたことを行っていくことは大変ではありますが、患者さんにとっても当院を選んで下さる指標にもなりますし、願うなら、当院で一緒に働きたいと思われる環境作りができたら良いと思っております。



気管支腔内超音波で病変を確認



胸腔鏡による中皮腫の診断

お薬の飲み忘れを防ぐために

薬剤部 細内 麻里奈

毎日服用が必要なお薬を飲み忘れてしまうことはありませんか？

今回は、飲み忘れや飲み間違いを防ぐために便利なグッズの紹介をします。

① 配薬ボックス・ピルケース

ケースに1回分または1日分ずつ整理することができます。1週間ずつセットできるもの、外出や旅行の時などに便利な曜日ごとに小分けできるタイプもあります。



② おくすりカレンダー

壁に掛けることができるカレンダーにポケットがついており、飲むタイミングごと（朝・昼・夜・ねる前など）に入れることで視覚的にお薬の管理ができます。壁に掛けることで家族も一緒に服薬チェックが可能です。様々な種類がありますが、1週間タイプのもものが多く利用されています。用法をアレンジできるタイプもあります。

様々な工夫をしても飲み忘れてしまう時間帯やお薬がある場合には、服用時間を変更する、服用回数を減らす、他の薬剤への変更など可能な場合もあります。また、残ったお薬を整理することも可能です。治療上・お薬の特性上変更が難しいこともあります、一度ご相談ください。



「重症心身病棟におけるリハビリテーション科の取り組み」

理学療法士 鈴木 裕介・佐野 昇太 作業療法士 信田 高祥

当院の重症心身障害病棟の治療方針は「患者さんや家族を支える医療」です。それは、「いのちを守ること」と「心を育て、生活・人生の質を高めること」から成り立っています。

リハビリテーション科においては、病棟で訓練はもちろんですが、機会があれば積極的に病棟から機能訓練室の外にあるリハビリ広場（ウッドデッキ）に出て日光浴をしたりして、心の健康及び骨粗鬆症予防を行っています。また、リハビリ室でみんなで歌唱や宇都宮農園での作業療法を通して当院一般病棟及び神経難病病棟の患者さんとの交流の場を設け、院内が生活の中心となっている患者さんが対人関係や生活の幅が広がるような活動を行い、社会性を身につけコミュニケーション能力の維持・向上等を目指しています。



このような取り組みを通して一人一人の笑顔を大切に考え積極的に病室を出て行けるよう機能維持はもちろん患者さんのモチベーション維持を考えています。患者さんからは「リハビリの時間です」の声かけに対して全身で喜びを表現してくれる方もいます。

現在は週2回程度実施していますが、これからもリハビリテーションが患者さん一人一人のQOL向上に繋がるよう努力していきたいと思っています。

市民公開フォーラムを開催しました

前庶務班長 長谷川 克

去る2月3日(土)に、当院主催の「市民公開フォーラム」を開催いたしました。

開催日の前週に関東を四年ぶりに襲った大雪の爪痕がまだ残る中、折からの前日の降雪もあって当日は「どれだけ来場者が来られるか」と心配されましたが、天気は見事に回復して会場内には立見が出るなど、たくさんの方々(222名)にお越しいただきました。

今回の市民公開フォーラムは「健康寿命を延ばそう!」というテーマのもと、当院副院長の田中孝昭先生による「関節機能を保ち90歳過ぎても歩けるように」と同整形外科部長 茶藷昌明先生による「あなたの背骨曲がり、大丈夫ですか? 一成人脊柱変形の診療と実際」の2講演が行われました。



茶藷昌明 整形外科部長



田中孝昭 副院長

普段から診察などで接している先生の講演とあって、講演後の質疑応答では時間の都合で打ち切らざるをえないほど大勢の方から質問をいただきました。また、来場者から講師の先生へ想定外の花束贈呈が行われるなど、大盛況のうちに市民公開フォーラムを終了することができました。

最後に、会場利用に際してご配慮いただいた河内総合福祉センターの方々、準備等に携わった病院スタッフの方々には、心よりお礼申し上げます。次回の市民公開フォーラムも解りやすい内容で開催したいと思いますので、是非ご参加ください。

出前講座「口腔ケアで寿命がのび～る!?!」

慢性呼吸器疾患看護認定看護師 上梶 奈央子

平成30年2月28日に稚ヶ坂第二公民館にて出前講座を行いました。今回のテーマは「口腔ケアで寿命が延びる!?! ～誤嚥性肺炎予防で長生きするコツ～」です。高齢化に伴い、肺炎患者さんは増加しており、肺炎で亡くなる7割が誤嚥性肺炎と言われています。誤嚥を予防するには、のどの筋肉を鍛えることが秘訣です。毎日5分のトレーニングでのみ込む力がアップします。講座では、(1) 口や顔の筋肉を動かすトレーニング (2) ペッドボトルや風船を膨らます呼吸トレーニング (3) のど仏周囲の筋肉をトレーニングする発声トレーニングを実際に体験していただきました。口や首周囲を少し意識して動かしたり、ペッドボトルや風船など身近なものを利用して肺活量を具体的に知ることができるので、皆様に積極的に参加していただきました。お喋りや笑い、カラオケも誤嚥性肺炎予防に効果的と言われています。お友達とお茶を飲みながら、またテレビを見ながら、そしてお風呂の中で、ちょこっと5分のトレーニングをしてみませんか。ますます明るく元気な毎日を送れるお手伝いができれば良いと思います。



医療連携結核研修会

前経営企画室長 林 正彦



梅津貴史 先生

今年の医療連携結核研修会は平成30年2月21日に開催され、一般講演は当院の梅津貴史 呼吸器内科医長により、「当院における外国出生結核患者の動向」について講演が行われました。特別講演は結核や非結核性抗酸菌症に関する臨床と研究の代医陳謝一人者である公益財団法人結核研究会複十字病院 臨床研究アドバイザーの倉島篤行 先生により、「増えるMACと減る結核 ―非結核性抗酸菌症の最新情報―」についてお話しいただきました。

各講演の質疑時

間には連携医の先生や保健所の関係

者などから質問が出されて、それぞれの質問に丁寧にお答えされておりました。質問のなかにはデータがないためお答えできないものもありましたが、とても興味深いものでした。

当院は第二種感染症指定医療機関であり、胸部慢性呼吸器疾患(結核含む)に関する専門医療を特色としている医療機関であるため、今後もさまざまな研修会を開催して地域の医療に貢献できるよう、職員一同努めて参ります。



倉島篤行 先生

宇都宮市地域包括支援センター北部・東部ブロック連携会議報告

医療社会事業専門職(MSW) 永山悦子

平成30年2月23日当院において宇都宮市地域包括支援センター北部・東部との医療・介護連携ブロック会議を開催致しました。

当日は、宇都宮市高齢福祉課地域ケア推進担当者より平成30年度から実施される「医療・介護連携支援センター及び医療・介護連携ステーションの設置、運営について」事業内容を説明していただき、当院においては宇都宮市北部・東部ブロックの医療・介護連携ステーションとして

- ・ブロック内の医療・介護等従事者からの相談業務と連携支援
- ・ブロック内の地域包括支援センターを対象とした情報交換会の実施
- ・多職種の顔の見える関係の構築に向けた研修の実施
- ・認知症初期集中支援チームとの連携調整等を実施することになりました。

参加された地域包括支援センター職員から、医療・介護連携ステーションとしての当院への要望、課題等が提出され活発な意見交換会となりました。

「開いて良かった連携ステーション!」をスローガンに、地域包括ケアシステムの構築に向けさらなる医療・介護の連携強化を図っていききたいと思います。



地域連携室のカウンターに設置しました



成人を祝う会



療育指導室 保育士 深澤 仁 美

まだまだ寒さの残る1月17日に重症心身障害病棟で「成人を祝う会」が行われ、春を先取りしたかのような笑顔の花が満開に咲き誇りました。今年度はお二人の方が成人を迎えました。お二人とも女性ということもあり、グリーンやピンクの生地に鮮やかな花々が散りばめられた着物で着飾り、とても華やかな式となりました。会場は療育訓練室を紅白幕と金屏風で彩り、病院長を始め、病院幹部や病棟スタッフ、重症心身障害病棟の利用者さんが参列しました。会の中では出生から現在までの成長を記録したスライド上映があり、ご兄弟にかこまれ笑顔いっぱいの様子や学校で活動に参加する真剣なまなざしなど時に笑い、時にじーんと胸が温くなるような写真であふれていました。退場の場面では色とりどりの花吹雪が成人者ごと家族を包み込む感動的な演出に、ご家族の目にもキラリと光るものがありました。人生の節目のひとつでもある「成人式」ですが、本人はもちろんご家族にとっても様々な思いの詰まった特別な日です。そんな特別な日を、一緒にお祝いすることができるのはとても嬉しく、また貴重な時間でした。お二人とも成人、おめでとうございます。これからも元気に楽しく過ごしていきましょう！



ボランティア感謝の集いを開催して



療育指導室 主任保育士 野中 令子



平成30年2月21日(水)「ボランティア感謝の集い」を開催しました。病院周囲の森林をきれいにしてくださる「森林ボランティア」、重症心身障害病棟のタオルをたたんでくださる「洗濯室ボランティア」、人形劇や歌声を届けてくれる「ICC文庫」、利用者に必要な物を作成してくださる「宇都宮法人会」、療育活動や車椅子清掃をしてくださる「シルバー大学卒業生」と個人ボランティアの方々、病院長を始め病院職員、総勢50名が集い、会が始まりました。今年度は、5年以上にわたり、当院の重症心身障害病棟でプロの音楽家による演奏会を開催していただいている「音寧の会」に感謝状が贈呈されました。

各テーブルにはボランティアの方が活躍されている写真を配布。初回当初は緊張していたボランティアの方々も今年で4回目となり回を重ねるごとに他のグループのボランティアの方とも笑顔で歓談されていました。ボランティアの皆さんいつもありがとうございます。今後のボランティア活動もよろしくお願いいたします。

編集後記

記録的な寒波に見舞われた冬も過ぎ、暖かい春となりました。今年は、4年に1回の世界的なスポーツのイベントが開催される年で、2月の平昌オリンピックに始まり、3月の平昌パラリンピックのほか、6月にはサッカーのワールドカップロシア大会が控えています。もっぱらTV観戦ですが、ワールドカップ開催を待ち望みながらも、同時にこの暖かくのどかな春が終わり、うっとおしい梅雨が来るのかと思うと複雑な心境であります。

前庶務班長 長谷川 克



【病院建物を望む桜】

表紙撮影：庶務係長 鈴木智久

外来診療担当医表

(平成30年4月1日～)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合内科	午前			黒崎 史朗	沼尾利郎(第2・4・5週) 志水太郎(3週)	志水 太郎 (第1・2・4・5週)
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	菊池 朋子	平尾菜々子	佐藤 稔	森 豊
	午後	佐藤 稔		平尾菜々子	佐藤 稔	
神経内科	午前	作田 英樹			伊藤 雅史	
	午後	作田 英樹			伊藤 雅史	
物忘れ外来(午後・予約制)				伊藤 雅史		
消化器内科	午前	常見美佐子	菅谷 洋子	渡邊 詔子	菅谷 洋子	前田 光徳
	午後	常見美佐子	菅谷 洋子		菅谷 洋子	前田 光徳
呼吸器内科	午前	沼尾 利郎／ 梅津 貴史	野村 由至 扇谷 昌宏	安西真紀子	梅津 貴史／ 藤松 孝旨	野村 由至／ 池田 直哉
	午後	沼尾 利郎	扇谷 昌宏	安西真紀子	黒崎 史朗／ 藤松 孝旨	池田 直哉
禁煙外来(保険適用) (午後・予約制)					藤松 孝旨	沼尾 利郎
リウマチ膠原病内科				高村 雄太		
小児科	午後	影山さち子 [予約制]			影山さち子 子供療育相談ルーム [予約制](2・4週)	影山さち子 [予約制]
外科	1 診	増田 典弘	芳賀 紀裕	滝田 純子	増田 典弘	芳賀 紀裕
	2 診	芳賀 紀裕	柴崎 雄太	芳賀 紀裕	山口 悟	滝田 純子
	3 診					田嶋 公平 (呼吸器外科)
整形外科	1 診	田中 孝昭	茶園 昌明	田中 孝昭 (第2・3・4週)	茶園昌明(第1・3・5週) 石川義久(第2・4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2 診	小牧 宏和		秋山昇士(第1・5週) 茶園昌明(第2・4週) 熊谷吉夫(第3週)	小牧 宏和 (第1・3週)	秋山 昇士
リウマチ科 (整形外科1診)				熊谷吉夫(第1・5週) 田中孝昭(第2・3・4週)		
リハビリテーション科				茶園 昌明	茶園 昌明	熊谷 吉夫
装具外来		田中 孝昭				熊谷 吉夫
側湾症外来					茶園昌明(4週)	
障害者歯科						石川 博之

外来受診案内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30～11:00迄です。
緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 物忘れ外来につきましては、地域医療連携室にて電話での予約を受け付けております。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通)
担当(ソーシャルワーカー)：永山・吉田・福富・高德(内線133)

- 下記は入院患者さんを中心として診療しております。

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科	午前		田所寿剛(1.3.5週) 伊藤 致(2.4週)	鈴木菜穂子		伊藤 致(2.4週)
	午後	渡邊 諒 (15:00～16:30)	田所寿剛(1.3.5週) 伊藤 致(2.4週)	鈴木菜穂子		伊藤 致(2.4週)
歯科		渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
眼科(午後)						松原 忠之
皮膚科(午後)				西川 聡一		
耳鼻咽喉科(午後)		永島 祐美				

- 診療時間は8:30～17:15迄です。
- 休診は土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)です。
- 都合により臨時休診になる診療科もありますので、ご確認のうえ、ご来院ください。



独立行政法人(NHO)

国立病院機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160

TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148

<http://un-hosp.jp/>